

○課題改善カリキュラム 技術・家庭科

【課題】安全管理の徹底 ～家庭での実践へつなげる技術の定着～

	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	課題に迫る具体的な手だて	重視すべき単元名等
中学校	<p>*道具を安全かつ衛生的に扱うことができる。</p> <p>*家庭生活に役立て、自分の力で考えながらやり遂げることができる。</p>	<p>*道具の使い方や管理の仕方を小学校と中学校で同じ観点で行う。</p> <p>*実習で一人一人が経験する機会を設ける。</p>	<p>*調理器具や裁縫道具、工具を扱う際に、毎回同じ物を提示し、確認を自分でできるようにする。</p> <p>*一人一人が自分で計画、実践できる課題を用意する。</p> <p>*作業を複数または、前半後半などと分けて交代させる。</p>	<p>*衣生活・住生活と自立</p> <p>*食生活と自立</p>
小学校5・6年生	<p>*道具の基本的な知識や正しい使い方を身に付ける。</p> <p>*家庭生活を大切にし、家族の一員としての自覚をもち、よりよくしようとする。</p>	<p>*学校で学習したことを家庭でも練習・実践できるよう、機会を設ける。</p> <p>*道具の使い方や管理の仕方を中学校と同じ観点で行う。</p> <p>*実習で一人一人が経験する機会を設ける。</p>	<p>*調理器具や裁縫道具、工具の正しい使い方を徹底する。</p> <p>*初めて裁縫道具や包丁を扱うときに、約束ややり方をまとめたプリントを配布し、同じ物を掲示する。毎回、同じやり方ができるように具体物も準備し、確認する。</p> <p>*作業を分担するのではなく、一人一人が全ての作業を経験できるように計画する。</p>	<p>⑤家庭生活と家族</p> <p>⑤快適な衣服と住まい</p> <p>⑥日常の食事と調理の基礎</p> <p>⑥身近な消費生活と環境</p>
小学校3・4年生				
小学校1・2年生				